

次月活動予定

6 月

- 1 日 岡本台病院プログラム
- 2 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 5 日 東京保護観察所プログラム アディクションフォーラム実行委員会
- 6 日 J-MARPP
- 7 日 再乱用防止教育事業県北
- 8 日 榛名女子学園薬物依存離脱指導 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
- 9 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 10 日 家族教室 再乱用防止教育事業県央
- 13 日 再乱用防止教育事業県南 アルコール関連問題研究会準備委員会
- 15 日 再乱用防止教育事業県庁
- 16 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 19 日 東京保護観察所プログラム
- 21 日 栃木 DARC・岡本台病院連絡会
- 22 日 宇都宮保護観察所プログラム 榛名女子学園薬物依存離脱指導  
再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
- 23 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 24 日 社会を明るくする運動講演
- 25 日 家族会
- 26 日 明徳会薬物回復訓練プログラム
- 27 日 J-MARPP
- 29 日 榛名女子学園薬物依存離脱指導
- 30 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導

7 月

- 3 日 東京保護観察所プログラム アディクションフォーラム実行委員会
- 5 日 再乱用防止教育事業県北
- 6 日 岡本台病院プログラム
- 7 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 8 日 家族教室 再乱用防止教育事業県央
- 11 日 J-MARPP アルコール関連問題研究会
- 12 日 菜の花家族会
- 13 日 榛名女子学園薬物依存離脱指導 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
- 14 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 18 日 栃木県立高根沢高等学校公園 再乱用防止教育事業県南
- 20 日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
- 21 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導

発行所

郵便番号一五七〇〇七二 東京都世田谷区祖師谷三―一七―一〇二号  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 100 円

編集 特定非営利活動法人栃木 D A R C  
〒320-0014  
栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル 3 F  
TEL 028-650-5582 FAX 650-5597  
URL <http://www.t-darc.com>E メール:nesm@t-darc.com

SSKO

栃木 DARC

ニュースレター 第 169 号 (2017, 5,10)

Grow up!!

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

シラフの季節

特定非営利活動法人 栃木 DARC  
代表理事 栗坪千明

日も長く、暖かくなり、ますます初夏の色合いが濃くなってまいりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

栃木 DARC ではこの季節、利用者のみんなは不安定になりがちで、様々な問題も起きがちですが、そんな気分を変えようとイベントを開催します。

4 月には施設近辺の名所での花見、5 月には連休に合同のバーベキューや CF での田植え祭などを催します。これには卒業生や家族も参加しますので盛大なものになります。もちろんアルコールはなしですが、皆楽しんでます。

いつからか私たち依存者は、1 番のものが薬物やアルコール、ギャンブルになってしまい、このように太陽の下で楽しむということを忘れてしまいました。初めて参加するときにはどんな気分に参加したら良いのかわからず、ただただ食べていたり、火の加減を見ていたりするものですが、だんだんと楽しみ方を心得るようになります。一番は仲間とのフェローシップです。真剣な悩みをスタッフに話している人もいるようですが、大方は他愛のない話で盛り上がります。木陰で昼寝を楽しむ人もいます。私はそんな感じです。それぞれが楽しみ方を見つけ、その様子を眺めるのも私たちスタッフは楽しみの一つです。これまで暗い部屋で過ごしていたとは思えません。

これから 6 月、7 月と夏に突入します。夏には海水浴やキャンプなど企画しているものがたくさんあります。薬物を使わずシラフを楽しむにはとても良い季節になります。

みなさんもぜひ楽しんでいただき、楽しみ方をぜひ教えてください。

## 那珂川の現状

CF 高田秀夫

五月晴れの日が続き、今が一年でもっとも快適な季節ではないでしょうか。  
CF では農業をするには最も忙しい時期となり毎日が忙しくなってきました。  
作業の方は、昨年に引き続き今年度も露地茄子栽培の準備に取り掛かっているところです。  
4 月前半から畑作りを開始し、防風ネットを張るためのパイプを立て、ネットを張り、肥料も必要なだけ用意して満遍なく散らし、畝を作り、マルチを張りました。  
5 月 10 日には茄子の苗が入荷する事になっているので、どうにか準備も整ったところです。  
昨年から始まった食品会社との契約栽培だった事もあり、すべてにおいて慎重になりすぎた部分もあったと思います。  
選果や出荷の時はみんなで気を使い丁寧に規格のサイズに合わせて品質の良いものを箱詰めしたり、病気にかからないようにマメに消毒散布を行ったりしました。そのため規格に外れる茄子がかなりの量だったので処分せざるをえない状態でした。  
今年は何か良い方法を考えて無駄にする事を最小限少なくしたいと考えています。  
これは後で分かった事なのですが、他の農家さんより出荷時の品質が良かったと食品会社の担当者の方が教えてくれました。  
とてもうれしかったですね。  
その他にも苗代の準備、ジャガイモの植え付け、長ネギの植え付け、トウモロコシ、スイカの種まき等をしたりと毎日忙しい日々を送っています。  
植え付けをした種が生き生きと芽を出してきたのを見ると早く大きく育ってほしいと言う気持ちになります。  
私達は農作業というものをプログラムの主に行っていますが、薬物を使わずに働く事の大切さや達成感、弱った身体の回復を取り戻して行きながら社会的に少しでも近づけるよう日々邁進しています。  
週に一度ですがプログラムの時間を使い、今後の作業の計画や反省点、改善策、注意点についてみんなで話し合い、今後どのように作業を行ったらよいか考えています。  
先にいる仲間が後から来た仲間に分っている事を教えてあげながらどうにかうまく行えているところです。それでも私たちの力だけでは限界があるのでお世話になっている星農園の星さんにアドバイスをもらったりしながら行っています。  
5 月 10 日には男性施設が那珂川に集まり田植えを行います、こちらも星さんの協力のもと行う事が出来るので本当に感謝しています。  
家族会の皆さんや烏山市更生保護女性会の皆さんもお手伝いに来てくださる事になっています。  
色々な方々に支えられながらどうにか施設もよい方向に向かっているのだと実感しているところ  
です。  
これから一年を通して色々な事が沢山ある中メンバーとの関わりも大切にし、自立に近づいている仲間のサポートも行い、より良い施設を作っていければと思っています。  
農業の大変さ、働く事の大変さを経験しながら仲間とともにこの先も薬を使わない生き方を続けていければと思っています。  
関係者の方々、今後ともご支援ご指導のほど宜しくお願い致します。



## 自分自身

アディクトのトンチキ  
はじめましてニュースレターを書くなんて事は初の挑戦です。何から書いていいか分かりませんが、提案されたので書いてみます。自分はギャンブル依存症です。宇都宮に生まれ現在は 55 歳です。今までいろいろな事がありました。初めて薬物を使ったのは中学生ぐらいですかね。お決まりのパターンで煙草から始まりシンナーと酒やら女性関係、ギャンブルと、その時は楽しいと思っていたのかもしれませんが。そして高校時代がやってきます。集団でバイク、車とわけの分らない事をしていました。当時凄く楽しかったけれど、心の中は隙間風です。満たされなかったわけですよ、人間ってわがままですよ（自分は特に）それから私の人生が変わるかなと思いましたが、変わりませんでした。そして社会人になり、仕事につきますがこれが長くは続きませんでした。板金加工工場や設備屋、土木とまた続かないのでいろいろやりましたが、なんせ続かない。しかしお金がなければ生活が出来ません。日々苦しい現状、そしてお付き合いをしていた女性に子供ができ、結婚しました。それでもギャンブル、酒、女性問題は続きます。そして転落人生の始まりです。子供がいても仕事もせずにギャンブルにハマリ毎日好きな事をして遊んでいました。それが数年続いていてそれでも女房は、頑張って試行錯誤していました。子供を産むと強いですね女性は。30 代になり、とうとう今まで自分がやって来たツケが回って来ました。統合失調症という病に・・・通院はしていましたが、治らない、良くならない、そして入院しました、入院生活は辛いものです。毎日規則正しく三食食べ、眠る事、3 ヶ月くらい入院しましたが退院日が来ました。これで自由だと思いましたが、そうでもなくそして 40 代髪の毛も薄くなり人生最大の修羅場ですよ。精神病が酷くなり、辛かったですね。その後も通院はしますが病状は良くならず、またも鹿沼にある M 病院へ入院することに、3 色食べてと寝ることのプログラムが続きました。数年居ましたが楽しみは 1 日数本のタバコでした。おかげさまで病状は良くなったので退院できました。そんなこんなとしている内に 50 代になりました。ここまで来ると健常者の方は心にゆとりがあると思いますが。自分にそんな事あるわけも無く、この先が手に取るように分かるような気がしました。「最悪の事を考えていれば」これも自論です。55 歳になり、自分は精神障害者になってしまい、とうとう離婚しました・・・1 年ほど過ぎて、姉がケースワーカーさんと相談してくれ最終的にここ栃木 DARC を紹介してくれました。宇都宮の 3rd stage center の職員の方と面接し、那珂川コミュニティーファームにお世話になることを決断しました。そして平成 28 年 10 月 14 日入寮となるわけです。当日迎えが来て宇都宮から那珂川まで 1 時間の道のりでした。DARC 生活の始まりです。多くの仲間が温かく迎えてくれました。施設は施設長とボランティアスタッフ、メンバーで構成されており農業を中心としたプログラムでいろいろなことを教えてもらいました。今、私はサポートとして役割を行っていますが、とても大変です。ここまで来るのに約 5 か月かかりました。DARC 生活でもいろいろな事がありました。1 ヶ月目は生活に慣れるのに精いっぱい、2 ヶ月目はプログラムに挑戦していて 3 ヶ月目あたりに、ふといろいろ考えるようになり、なんと 4 か月目に脱走してスリップしてしまいました。1 度では済まず 2 度も繰り返してしまいました。戻ってきて 2 か月が過ぎ、今も DARC にお世話になりいろいろな事にチャレンジしながら多くの仲間  
に助けられて生活をしています。あまり変わらない毎日が過ぎていますが、早く卒業して自由が欲しいです。娘にも会いたいです。  
ありがとうございました。



## これからの生き方

依存症のテツ

初めまして依存症のテツと申します。私は現在三十七歳で三回も覚せい剤で刑務所に入っています。覚せい剤を覚えたのは二十二歳位の頃で周りの友人から誘われて興味があって注射器で打って貰ったのが始まりで自分では連続使用しないと思っていたのですが気が付くとハマってしまい捕まるまでずっと体に入れていました。そのせいか周りからは外に連れていけないと言われ一人の期間が長かったです。

一度捕まってから次に捕まるまでの期間は四年程有りましたがその間もクスリを使用して生活していた時もありました。最後に捕まった時も出てから何回か使用し、周りに迷惑を掛けてしまい、それから現在で七カ月程使わずに生活しておりますが、これ迄の自分の生き方を考えるとこれから先が不安で一杯です。クスリを使わない生き方をするととっても周りからは信用されないと思いますのでダルクでの生活の中で今迄出来なかった我慢や感謝の気持ちを持つ事をしていきたいと思日々生活しています。

ここに来て最初と違うのは、感謝の気持ちを持ち日々を送り、人と接することで物事の受け止め方が前と比べて前向きに、そして楽しく感じられるようになって来ました。今迄の私は人からの言葉を素直に受け入れられなかったのですが、仲間との生活で少しずつ変わってきました。落ち込む時も、悩んだり過去にとらわれてしまう時もありますが周りの仲間の支えや頑張っている姿を見ている内に自分を変えようと思えるようになってきました。社会の事を考えるのはまだ早いですが、今変えられなければ私はこの先また失敗してクスリに手を出してしまうかもしれませんので自分の事を大切に考えプログラムに取り組み今後も生活して行きたいと思います。生き方を変えるというのは難しい事だと思います。長年かけて出来てしまった内面的なものや癖はクスリを止めてもすぐに変わるものではないと思います。長いスパンをかけて変えていくしかないと先行く仲間にも助言を貰ったりして気づきました。

ここでは今迄自分が見せないようにしてきたカッコ悪い自分や弱い所も見せて素直に生きてみようと思います。そうしていく事で先に見えてくるものがあると思いますので辛い事もあるかもしれませんが頑張ってクリーンを続け生活していきます。それと周りの仲間に気遣いが出来る位、自分自身が延びるように周囲の意見を重視していこうと思います。

この先、社会に出た後もクスリや他の事で捕まる事の無いように自分に対しての勉強をして自分にとって楽しい人生となるように施設生活で感じ変えられる所は変えて行こうと思います。私は現在迄ずっと独身で生きて来ましたがいつの日か結婚もしてみたいと思う様になって来ましたので、そうなれる様に今と云う時間、人との出会いを大切に生きて行こうと思います。分からない事は恥ずかしい事ではないですし聞かないでずっと考えていた時のストレスは今思っても凄く自分にとって重いものだったと分かる事が出来ました。期間がまだ短い私でも気付いた事が幾つかあって重く乗っていたものを少しずつ降ろしていくまで気持ちが楽になってきました。いつまでも何かにとらわれたり考えたりしては周りが見えなくなってしまうたりして先に進めず成長出来ない事がわかり、そんな繰り返しの流れを止めたいと考えるようになり今は少しずつですが出来なかった癖を変える事が出来るようになってきました。これ位で、と思って満足するのではなくてもっと上を見て行こうと思って居ます。自分一人で変えられないものを仲間と一緒に過ごす事やミーティングで変えて行きたいです。そして私が変われたらそれをまた人に伝えていけたらと日々思っています。焦らず立ち止まったりして見つめて行こうと思います。最後に、皆様段々と日増しに暖かくなって参りましたがお体には呉々も気を付けてお過ごしください。

## 最近思うこと

依存症のリベリ

僕の記憶が正しければ、ニュースレターを書くのは今回で 3 回目になると思う。その間何をしていたかと言われれば僕は回復のプログラムを続けてきたのでその辺の話を振り返っていいと思う。改めまして依存症のリベリです。退寮をして、再び施設につながって 2 年が経過し、栃木ダルクにつながって 3 年の月日が経過しました。その時々で考え方や思うことは変わりましたし、今後も変わっていくものだと思っています。ですので、これまでの僕自身の整理としてこの NL を書きたいと思います。

まず僕が最初に回復に対して抱いたのは、「不信感」でした。もっと言えば、その言葉を聞くのが嫌だったし、それを言っている人も嫌いでした。自分から色々なものを奪っていくものだと最初は思っていました。当時は仲間のことも仲間だと思っていませんでした。ですから、孤立していましたし、スリップもしていました。仲間と生活はしていましたが、仲間の輪の中には居ませんでした。2 回目の入寮をしてからは、全て逆のことをやるように最初はしていました。仲間の輪の中に飛び込み、離れないようにして、みんなが行くところには自分も行く。本当に苦痛でした…。しかし、しばらく続けていると仲間たちから自分に向けられるものが変わっていき、「自分も変わってきているのでは？」と、たまに思ったりするような時がちらほら出てくるときには、回復が楽しくなっていました。その頃、回復は楽しく素晴らしいものだと思っていましたし、疑っていませんでした。つまり、今振り返るとある意味では自分ではなくて、自分の周囲が自分の望んだ形になっていたのだと思います。しかし、いいときばかりではなく自分の思ったとおりに物事が進まないときがやってきました。続けることが苦しくて、自分の将来を巻き込んで早く楽になりたいと考えていました。しかし、それでも今も回復することを行っています。そして最近、回復の良い部分と悪い部分が自分なりに見えてきて、そこから自分が選ぶことが本当の意味での選択なのかなと思っています。だから、回復に関しても以前ほど前向きではない時もありますが、そういうときも必要だと思っています。以前よりも自分の選択に責任を持てていると思いますし、自分を褒めているときも多いです。自分のやっていることをフラットに認められるようになってきているのだと思います。人に合わせすぎず、自分に正直にありたいと常々思っています。

そうはいっても合わせるときもありますし、流されるときもあります。そういうときを自分が分かっていること、そういうときに自分がどう思っているかを自分が分かっていることが大事だと思うようにもなりました。

最近、約 6 年ぶりに両親に会いました。僕にとって一番嬉しかったのは、両親が理解しようとしてくれていることを続けていてくれて、今も続けていることが何よりも嬉しかったです。それを感じて、今後の関係を前向きに考えられるようになりました。僕がしてきたことは変えられませんが、僕が知らない所でたくさんの苦労もかけたと思います。正直、計り知れません。今の僕にできることを考えると、使わないで生活を続けていくことが僕にできることで、やっぱり僕が大事にしていくものだと確信しました。もちろん今後も僕自身が変わる必要がありますし、変えるところは多分にあります。変えることは自分にとって苦しいし、かっこ悪い姿をさらしますが、それでいいと思うようにしています。どんな形であれ、それは報われると信じているので。そう感じられた時が自分を作っていくのだと…そして、変わる最中の手助けや支えが、後々の大事なものになることもこれまでの経験から理解しています。だから、僕は仲間の中にいようと思います。その中で感じるものを変えていくこと、時には変えないことも楽しんでいけたらと思います。ですから、これからも恐れずにかっこ悪い姿をさらしていこうと思っています。

## 部屋とドラッグと私

依存症のみちこ  
こんにちは。今回初めてニュースレターを書かせて頂く事になりました。入所 2 ヶ月目の依存症のみちこです。まさかこんなに早くに自分の書く順番が回ってくるとは思わなくて何から書き始めていいかわからず、混乱しています。私が初めて覚醒剤を覚えたのは今から 16 年前の 25 歳の時でした。きっかけは”掃除”です。私は部屋を片付けるのが苦手です。そのことで小さい頃から母親から怒られてばかりいたのです。何度となく怒られてもどうしても掃除ができず、何年経ってもどうしてもできず、そのことで自分に自信がもてずにいました。そしてそのまま 23 歳で結婚し、親から離れて暮らしていても部屋はぐちゃぐちゃのまま仕事をしながら生活していました。その時何をしていたのかというと、パソコンで、ネットサーフィンをしていました。当時私が夢中になって見ていたサイトは”アングラ”と呼ばれる、人間がぐちゃぐちゃになった姿で死んでいたり、悲惨な事故の瞬間だったりする映像でした。そうした画像や映像を見ているうちにある掲示板に目がとまりました。そこにはこう書いてありました。”覚醒剤を売ります 1g 2 万円、そして、その下にはこう書いてありました。”覚醒剤をやると掃除がはまるよね”、そしてそのまた下には、こう書いてありました。”そうそう！はまるよね”と。私は目が釘付けになりました。そしてためらいもなく、その売人のアドレスに売ってくれるよう、連絡を取りました。ほどなくして”書類、と宛名書きされた覚醒剤が宅急便で届きました。初めて覚醒剤を見た感想はこれが、そうか〜。と思いました。試しにパケのふちにあった覚醒剤を舐めてみました。その瞬間、脳みその裏側がチリチリした覚えがあります。当時私は病院で薬剤助手として働いていたので、試験管なども簡単に手に入る状況にいました。そして手に入れた覚醒剤を試験管に入れ、下からライターの火をあて、炙って吸い込みました。なぜ当時の私が覚醒剤の炙りの方法を知っていたのか未だによく解りませんが、そうする事が自然にできたのです。吸い込んだ時、これで私も苦手な掃除が出来る！と思ったのですが、何度吸い込んでも、一向に掃除にハマりません。なんでっ。と頭の中に大きなクエスチョンマークが浮かびました。と、同時に「ふ〜ん、こんなもんなのかな〜？」とも思いました。覚醒剤というのは 1 回だけ使ってもハマるなんてウソなんだ、人間辞めますか？って言われる程の事なんてないんだ、大袈裟だなあとも思いました。そしてそのまま掃除にハマる事なく、時々思い出した時に吸うという感じでした。今思えばネタが悪かったからかもしれません。ニオイもキツく、試験管の底のほうにドロリとした茶色い液体が残っていたからです。そんな事を想っていた私が何故二度目の覚醒剤に手を出したのか今も思い出せません。たぶん仕事のストレスからじゃないかと思います。仕事から帰って来て、家の事をするのがおっくうで、すぐ一服。そうすると少しだけ体が軽くなり、また一服。そうしてゆっくりと坂道を下るように深みにハマってゆきました。きっかけは掃除にハマりたいと思って手を出したのに、いつしか覚醒剤を炙って吸う事が楽しくなってきてしまいました。そうして仕事も辞め、家事もせず一ヶ月おきに 1 日 1g を 2 日で使い切るという生活を 2 年間くらい続けるまでになりました。その間、薬物治療を専門とする病院へ 4 ヶ月間入院していたのですが、それでもやめる事が出来ずに離婚し、施設に繋がりました。ここでの生活をしていても、時々薬物が欲しくなる事があります。そんな時は正直に仲間に打ち明けます。ミーティングは毎日あるので、その度に打ち明けます。ここでの生活を通して今までの自分を振り返りもう 2 度と薬物に手を出さない生活を身につけていこうと思っています。



## 3月にステップアップした仲間

1st

・テツ、ノリ メンバー〜サポートへ  
・ダイ、ゴウ サポート〜リーダーへ

2nd

・ユウ、アニー サポート〜リーダーへ

3rd

・該当者なし

CF

・該当者なし

PP

・該当者なし

### 4 月の献金・献品

（献金） 那須トラピスト修道院様、匿名者 3 名様

（献品） 慈眼院様、他匿名者 5 名様

とても助かっており、 栃木ダルクー同感謝しています。

### 献品のお願い

- ・ 2nd Stage Center 開設の為、事務用品（中古パソコン等）、家具、家電（TV、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、掃除機、ファンヒーター、扇風機）、台所用品、タオル、茶碗や陶器類等あればよろしくお願いします。
- ・ 修了者の為の原付バイクがあれば頂きたいです。中古、多少壊れていても結構です。
- ・ 1st StageCenter からソフトボール用のグローブ、用品よろしくお願いします。
- ・ CF から農機具関係（草刈機、農作業用品）等あれば宜しくお願いします。
- ・ 自転車の中古品があればお願いします。

## お知らせと一言

- ・ 新緑の良い季節になりました。この季節になるとイベント事が多くなり何かと忙しい日々が続きますが「今日 1 日」を忘れずにいきたいと思ひます。皆様におかれましてはお体ご自愛くださいませ。

編集 秋葉

## 回復の道のり 仲間と共に

依存症のユウ

季節も変わり暖かい時期が続くようになりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか？今回、筆をとることになりました2scのユウと申します。施設につながり一年の月日が流れ、今の自分があるのも仲間との関わりが自分にとって大きな存在であり頼もしい関係を築いてくれた事に感謝の気持ちでいっぱいです。過去の自分を振り返ってみることも出来るようになり、自分の今までにない本当の意味での「今の自分」というものを見つめ直す事が出来るようになり、施設生活のありがたさをつくづく感じるようになりました。

施設につながる以前の自分は今思えば、自己中心的な行動をとっていたり家族にも迷惑をかけてきて、今までに出会った友人等を巻き込んでしまったり、振り返れば恥ずかしい自分を思い出すことも浮かびます。家族を病気で失ってしまったショックでアルコール依存になり、精神化に通うようになって、そこで栃木 DARC の存在を知り施設に行くことを決意しました。施設につながり、たくさんの仲間と出会い快く受け入れていただいたことにより、新たな自分の人生のスタートラインに建てた事も自分の最後のチャンスだと思い、今では施設の生活にも慣れて、処方薬の調整や今後の社会復帰に向けてのプログラム等を施設で学んでいます。仲間の回復に向けてそれぞれのプログラムや社会に出るためのルールやマナーを学び努力している姿を見ていると、自分も努力していかないといけないなあとつくづく感じています。皆同じ苦しみや目標を持って生活していて、共感できることもたくさんあります。自分には大切な家族もいますし、これからもまた家族に逢えることを夢見て、今は施設の生活を丁寧に送り、以前の自分と変わらないといけないと思います。自分の弱さもあったと思います。

自分は音楽が好きで施設の仲間と話が合ったり、今まで聴いたことが無い音楽を教えてくれたりする仲間がたくさんいます。これからも自分を変える努力を続けていきたいですしよりよい回復を目指し仲間と共に更正して1日1日を大切に歩んでいきたいと思います。これから取る行動を考慮しつつ、断酒断薬を継続し協調性を養い、焦ることなく仲間と共に過ごしていきます。

最後に色々な病いや依存症などで苦しんでいる人たちが回復に向け、皆幸福になれるよう心から祈っています。これから先もいろいろな人との出会いや社会に出て働いていく為の基礎をしっかりと固めていく努力をしていこうと思います。ありがとうございました。





## 1<sup>st</sup> StageCenter

花見&BBQの様子です。



### 施設報告

1sc（導入）16名 2sc（回復）6名 3sc（後期・社会復帰）8名 CF（農業）  
17名 PP ピースフルプレイス（女性）11名計 58名で活動しております。各々  
の施設でステージ事のプログラムを実施しております。